

まだやるの？ 巨大ハコモノ建設

見直そう「市民センター周辺地区整備基本プラン」

三鷹市役所東側の多摩青果跡地周辺地域に、総額200億円を超えるハコモノ建設の計画が具体化しつつあります。「市民センター周辺地区整備基本プラン」です。(独)都市再生機構(UR)が建設し、それを三鷹市が買い取る計画です。これだけの巨大開発をデフレ不況真っ最中のこの時期に強行する必要があるのでしょうか。

▶▶▶ URと組んで老朽化した施設を建替え

三鷹市では、「老朽化した公共施設を集約化して新設する」としています。今回の集約予定は、第一体育館、第二体育館、福祉会館、総合保健センター、社会教育会館、北野ハピネスセンター(障がい児部門)の6施設です。

全体をURの防災公園街区整備事業として実施する予定。まずURが土地を買い、防災公園と総合スポーツセンター・複合施設を建設します。その際に、URが国から一部補助を受けるので、市が買い取る際の負担額は少なくすむと説明されています。

▶▶▶ 他に方法はないの？

市は、「100通り以上の事業パターン」を検討したと説明(2009年11月総務委員会)していますが、各施設を個別に建て替えた場合、どのくらいのコストがかかるのかということすら、市議会に一切資料を示していません。これでは、そもそも検証すらできません。

にじ色のつばさは、「個々の施設ごとの建替え費用」・「現状の施設に耐震補強を行う場合の費用」について、情報公開請求をしました。

しかしなんと資料は「不存在」と通知されました。「100通り以上の事業パターン」が「不存在」とはどういうことでしょうか。

▶▶▶ いったいいくらかかるの？

全体像が明らかにされない中で、この事業にいくらかかるのか、にじ色のつばさは推計をしてみました。

三鷹市負担額は、合計144億3千万円となり、2009年度市税収入350億7千万円の41%にも上ります。

	三鷹市負担額	国補助分含む総額
施設建設費 ^{注・ア)}	80.0億円	127.0億円
土地代 ^{注・イ)}	37.2億円	49.6億円
URへの事務費 ^{注・ウ)}	3.3億円	3.3億円
起債部分の金利負担 ^{注・エ)}	20.5億円	20.5億円
すでにかかった経費(賃借料) ^{注・オ)}	3.3億円	3.3億円
合計	144.3億円	203.7億円

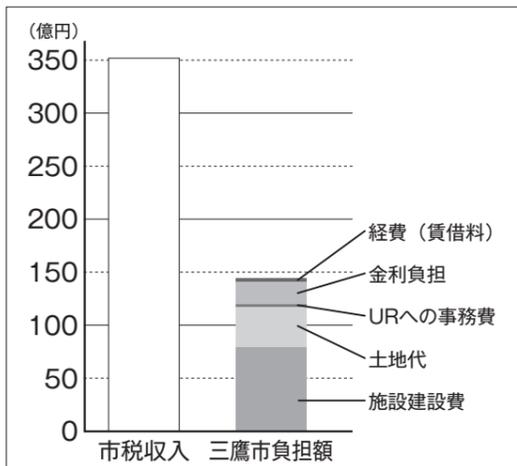
ア) 施設建設費——総合スポーツセンター(77億-国補助1/2)+複合施設25億+公園その他(18億-国補助1/2+その他7億円)=(77-38)+25+16=80億円(整備基本プランによる)

イ) 土地代——総面積約2ha(多摩青果1.7ha+他の所有0.3ha)×路線価約24万8千円(にじ試算。奥行価格補正、影響加算、時点修正計算考慮済)- (防災公園部分1.5ha×路線価×国の補助率1/3)=(20000m²×24万8千円)-(15000m²×24万8千円×1/3)=37億2千万円と推計。

ウ) URへの事務費——経費率、都市公園事業費補助(UR資料)などから推計。

エ) 起債部分の金利負担——起債額117億円(市負担額)の9割×金利1.4%(財政融資資金の20年期間返済金利)=20億5千万円(5年据え置きの場合)と推計。

オ) すでにかかった経費(賃借料)——年間賃借料1億2200万×3年(2008~2010年度)=3億3300万円



「巨大ハコモノ建設」問題を考えるつどい

12/12(日) 三鷹市市民協働センター

詳細は裏面をごらんください。

ご参加
ください

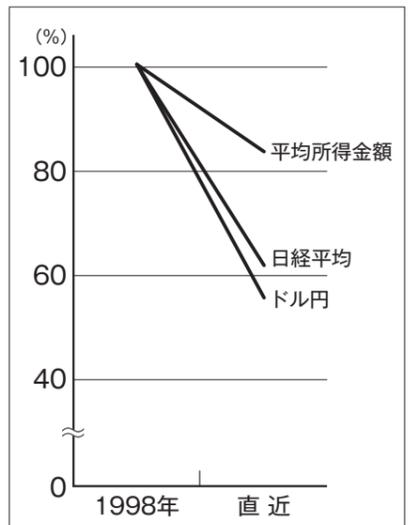
▶▶▶ 市財政への影響はどうか？

	1998年度	直近	備考
平均所得金額	6,502,000円	5,475,000円	2009年度
(1世帯あたり)	100%	84.2%	15.8%減少
日経平均	16,527円	9369円	2010年9月終値
	100%	56.7%	43.3%下落
ドル円	133.07円	83.45円	2010年9月終値
	100%	62.7%	37.3%円高進行

1998年3月議会で、安田前市長は、総合スポーツセンターの建設を「市財政の健全性を維持するために見直す」と凍結宣言しました。その当時と現在とを比較してみると、市税収入は14億円の減少(マイナス4%)、1世帯あたりの平均所得金額は15.8%も減少しています(国民生活基礎調査による)。

三鷹市は、「ある程度の経済状況の反映を受けたとしても、持ちこたえる財政体力があるのではないかと、推測している」(2009年3月総務委員会)としています。

不況の出口が見えない中で、市民生活への影響がないと言い切れるのでしょうか。



▶▶▶ URとの事業は本当におトク？

URの事業は国庫補助金などの一定のメリットがあると、市は強調しますが、しかし、こんな問題も起きています。

小金井市では、市民交流センターをURが建設。買収に際して、議会で明らかになったのは、舞台装置、音響装置など「付帯設備」部分が合計2億4千万円のどんぶり勘定。URは個々の価格の提示を拒否。これでは金額が妥当なのか検証のしようがありません。

▶▶▶ 井口の予定地はどうか？

三鷹市は、「売却可能な用地については、時期を捉えて売却」とし、井口のスポーツセンター建設予定地などの土地売却収入も財源の一部に充てるとしています。

「時期を捉えて」とありますが、今、不動産価格は下落し続けています。

1990年以降に買収した井口の予定地の費用総額は150億円以上^{注・カ)}。うち返済済み総額は119億円。金利を含めあと31億円も返さなければなりません。

一方、1.17ha^{注・キ)}の現在の売却価格は推定28億7千万円^{注・ク)}にしかありません。「高い時期に買って安い時期に手放す」。それでは市民の財産を損なうことになるのではないのでしょうか。

カ) 122億2千万円(用地買収費+物件補償費)+金利(今後予定分を含む)

キ) 2007年度売却分845m²(売却収入額3億8千万円)を除く

ク) 総面積1.17ha×路線価約24万6千円(にじ試算)=28億7千万円

▶▶▶ 新たな土地買収より今あるものの有効活用を

巨大ハコモノ建設は、事業費の他、維持管理費も膨大で、後世にツケを残します。「老朽化した施設は建替えなければならない、URを使うとおトク」というのが市の主張です。その一方で、「お金がないから保育園新設はムリ」といいます。三鷹市に相応しい公共施設はどのようなものか、市民全体で議論すべきではないでしょうか。

井口に仮施設を建て現在地での建替え、といった案を含め、将来負担の少ない、今あるものを有効活用する方法を検討しませんか。

今ならまだ間に合います。

多摩青果跡地の買収中止と、「市民センター周辺地区整備基本プラン」の見直しを求める声を、市長や議会に届けましょう。

「巨大ハコモノ建設」問題を考えるつどい

市民センター周辺地区整備基本プラン

主催：にじ色のつばさ

日時：12 / 12 (日) 14:00

場所：三鷹市市民協働センター（下連雀4-17-23）

ゲスト：UR 事業に取り組む近隣自治体議員（予定）

報告：半田伸明議員（総務委員会委員）

どなたでもご自由にご参加ください

議員報酬引下げを提案

にじ色のつばさは、9月定例議会に議員報酬を月額1%引き下げる条例改正案を提出しました。

	現行	改正案
議長	64万円	63万3600円
副議長	58万円	57万4200円
議員	55万円	54万4500円

昨年の人事院勧告に基づき一般職員の基本給は4月から1%引き下げられましたが、市長や議員は引き下げられませんでした。

本会議場で議員同士の質疑・討論の後、採決されました。結果は、賛成7、反対18（政新クラブ・公明党・民主党）で、残念ながら否決されました。

一般職員給与を引き下げたのに、なぜ、自らの議員報酬の引き下げには反対するのでしょうか。

行政チェック・政策提案する議会へ

にじ色のつばさは結成以来、「①議員同士が自由に議論する議会 ②市民参加による政策判断・決定できる議会への発展 ③情報公開を徹底し、透明性のある議会」を目指してきました。

下記の「三鷹市議会についてのアンケート」結果を受けて、さらに市議会が市民参加と政策づくりの場となるよう改革を進めていきます。

第4次基本計画と議会の関わり

三鷹市の長期総合計画である「第4次基本計画」は、12カ年計画（従来は10カ年）、市長の任期に合わせ、4年ごとの見直しとすることになりました。これでは、当選した市長候補の「マニフェスト」が全てとなってしまいます。

多様な市民意見を元にした議会によるチェックがこれまで以上に必要です。

にじ色のつばさは、「第4次基本計画」策定について、議会の本来の機能を果たすべく、「行政チェック」・「政策提言」の実施を、議会内外に提案し続けていきます。

チャンス！市民の声を市議会へ

三鷹市議会は、議会改革の一環として「第4次基本計画」策定について、初めて議会として市民アンケートを実施することになりました（「みたか議会だより」11月7日号掲載）。にじ色のつばさの主張が、不十分ではありますがようやく実現しました。「この計画の策定に関する市議会のかかわり方について」の自由記述欄に、皆様の率直なご意見をお寄せください。

市民とともに「第4次基本計画」案をはじめとする様々な政策を立案・提言できる議会をめざします。

「三鷹市議会についてのアンケート」から見えたもの

にじ色のつばさ議会レポート2010年春号で皆さんにお願いした「三鷹市議会についてのアンケート」に多くのご回答をお寄せいただき、ありがとうございました。

アンケート結果分析の概要をご報告いたします。

以下の回答結果及び設問10（その他ご意見）の記入意見から、市議会は「市長へのお願い」型から「行政チェック」型、「政策提言」型へという改革を市民から求められており、同時に議員の勉強不足が指摘されていることがわかりました。また、議会が何をしているのかの情報を、紙媒体を中心に市民に発信することが重要であることがわかりました。

1 三鷹市議会に関心がありますか

回答の大多数が「関心がある」もしくは「まあまあある」を選択。

2 「みたか議会だより」を読んでいますか

「いつも読んでいる」もしくは「たまに読んでいる」を大多数が選択。

3 市議会の情報をどこから入手していますか（複数回答可）

政党・会派のニュースや議員個人のニュースより「みたか議会だより」を選択する方が多数。市議会ホームページと答えた方は皆無。

4 選んだ議員の活動に満足していますか

満足もしくは不満足を選択した方よりも、はるかに多い選択が「わからない」でした。

5 議会の本来の役割は何だと思えますか（複数回答可）

「地元の要望を市長にお願いする」を選択した方の倍以上が「行政のチェック」（ムダ使いの防止など）を選択しています。さらに、「行政のチェック」を選んだ方の大半は「条例提案など政策提言をする」を選択。

6 今の三鷹市議会をどのように評価していますか

ほとんどの方が「あまり評価しない」を選択。

7 市議会に市民の声が反映されていると思えますか

「反映されていない」を選択した方が大多数。

8 市議会の改革が必要だと思えますか

6で否定的な回答を選択した方が、本問で「必要」を選択しています。同時に、そのほとんどの方が「議員がもっと勉強する」をも選択。

9 議会に関心がない理由をお答えください。

「議会が何をしているのかよく分からない」を選択した方がほとんど。

にじ色のつばさ
三鷹市議会

無所属議員3名による議会会派です。政党に所属していないからこそ見えてくるものがあります。主張も明快です。今回は、「三鷹市の政策決定と議会のあり方」について、広く市民の皆様の問題提起をしていきたいと、様々な情報を「つばさ」に乗せて、お届けします。皆様の声もお寄せください。

電話：090-3082-2640（嶋崎）
FAX：0422-72-2425（野村）
Eメール：mitakaniji@yahoo.co.jp（半田）
ブログ：http://mitakaniji.blog120.fc2.com/

嶋崎英治



半田伸明



野村羊子

